

5 生活福祉系列

科 目	科 目 説 明
社会福祉基礎	社会福祉について、基礎となる内容を学ぶ科目です。「社会福祉とは何か」「社会福祉の歴史」「子どもと家庭の福祉」を中心に社会福祉の様々な分野を一通り扱います。社会福祉が自分の身近なものと感じられるようになることを大切にして、授業の中で一人で、みんなで、考えることも大切にします。
社会福祉基礎Ⅱ	社会福祉の様々な分野について幅広く考える科目です。「高齢者福祉」「障がい者福祉」「地域福祉」を中心に、現実の社会で何が課題としてあるのか、どうすればよりよい社会が実現するのかを考えていきます。福祉に関する新聞やニュースを題材にして考えたり討議したり、また自分でテーマを決めて、考えたり、調べたりすることも行います。
コミュニケーション技術	簡単な手話表現を学ぶことによって、聴覚障害のある方たちに対する理解を深めます。
介護実習	地元地域にある様々な施設の見学・実習という体験を通して、「社会福祉」の現実に触れてみる授業です。実習先は高齢者か障がい者の施設で、実習時間は2時間程度です。施設での実習については、それまでの授業の取り組みの状況によっては参加できない場合があります。また、外部の施設にお願いして実習を行うので高校生としてふさわしい行動や態度が求められます。髪の毛を染色しての実習参加はできません。
介護実習Ⅱ	施設の見学や4時間程度のまとまった時間の実習を通して、「社会福祉」についてさらに幅広く考える授業です。施設での実習については、それまでの授業の取り組みの状況によっては、参加できない場合があります。また、外部の施設にお願いして実習を行うので高校生としてふさわしい行動や態度が求められます。髪の毛を染色しての実習参加はできない。
子どもの発達と保育	乳幼児の心身の特徴や生活・発達の様子などを学習し、保育者としての心がまえを養います。座学が中心ですが、校内の実習(調乳実習・絵本の制作など)に加え、校外の保育園実習を年間に3回程度行います。将来、保育士・幼稚園教諭を希望する場合は履修を勧めます。実習参加を含め、出席と学習に対する意欲・態度も重視します。

科 目	科 目 説 明
ファッション造形基礎	ミシンによる被服の製作が主となります。年間に3作品程度の製作(昨年度の例:甚平・バッグ)が中心となり、基礎的な縫い方、服の構成等を学習します。作品提出だけでなく、出席と製作に対する意欲・態度も重視します。布地は各自で購入して持参します。
服飾手芸	手縫いを基本とした小物の製作を主とします。刺しゅう、編み物、染色等を含めて、手芸の基本的な技術を学習します。作品提出だけでなく、出席と製作に対する意欲・態度も重視します。布地等は各自で購入して持参します。
フードデザイン	授業の半分は座学となり、食生活の基本や様式別の献立(日本料理・西洋料理・中国料理)の特徴、食材などについて学習します。また、調理実習では基本的な調理技術、献立を学びます。座学を含め、出席と学習に対する意欲・態度も重視します。
保育と遊びの文化	子どもの遊びを通して保育を学習します。授業は絵本・おもちゃの製作を主に行いますので、布地や折り紙を利用したりといった、裁縫や工作が中心となります。作品提出だけでなく、出席と製作に対する意欲・態度も重視します。
現代の家庭生活	現代社会における、家族の問題を考える授業です。性別役割分業、児童虐待、労働や貧困の問題など様々な家族の問題を、男女の平等、子どもの権利、個人の尊厳などをもとに読み解いていきます。